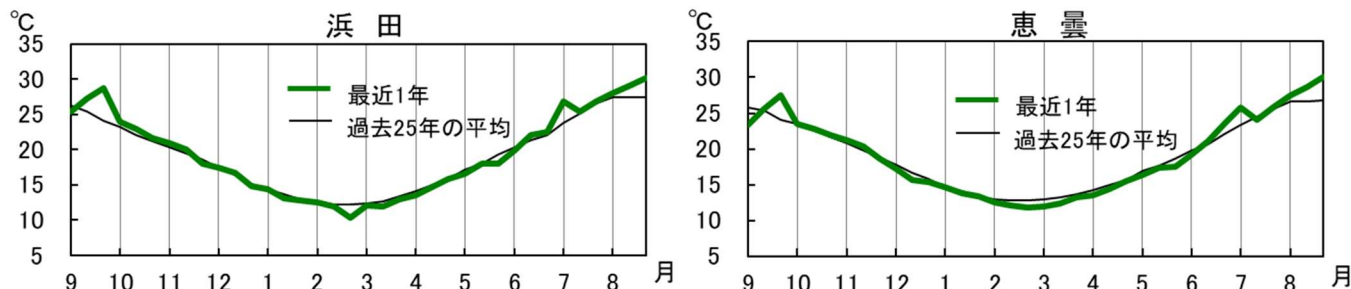




《8月の海況》



8月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	29.2℃	+1.8℃	やや高め	28.7℃	+2.0℃
中旬	やや高め			やや高め		
下旬	かなり高め			はなはだ高め		



《8月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の8割、前年の1.3倍、マアジは平年の3割、前年の4割でした。隠岐地区ではマアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は21.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、マアジは1,089トンで平年の1.4倍、前年の6割、ブリは407トンで平年の6割、前年の9割、マイワシは328トンで平年の1.1倍、前年の29倍、サバ類は300トンで平年の7割、前年の6割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の92%）が主体で1隻1航海当りの漁獲量は134kgで平年を上回りました。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の92%）が主体で1隻1航海当りの漁獲量は101kgで平年を上回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、キダイ、マトウダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は12.1トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、アカムツは平年の1.2倍、キダイは平年の9割、マトウダイは平年の1.8倍でした。その他、アマダイ類は平年の3.8倍、ケンサキイカは平年の1.2倍、カワハギ類は平年の1.1倍と好調でしたが、マダイは平年の1.0倍、マアジは平年の5割、アンコウ類は平年の4割、ムシガレイは平年の3割の水揚げでした。

【ばいかご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、1隻1航海当りの漁獲量は1.0トンで平年並みでした。エッチュウバイの漁獲量は14.7トンで平年の9割となり、銘柄別では「中」「中大」および「大」の3銘柄で全銘柄の約88%を占め、特に「大」は8.6トンで平年の1.6倍でした。

【しいら漬け漁業】

石見地区のしいら漬け漁業はシイラのための漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は平年並みでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、マアジ、ソウダガツオ類、カジキ類（主にバショウカジキ）主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は10.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の1.5倍、ソウダガツオ類は平年の3.9倍、カジキ類は平年の3.0倍でしたが、マアジは平年の6割でした。石見地区ではサバ類、イサキ、ソウダガツオ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は6.0トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の1.0倍、イサキは平年の1.2倍、ソウダガツオ類は平年の3.5倍でした。隠岐地区ではマイワシ、ケンサキイカ、カンパチ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は4.6トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、マイワシは過去5年間なかった水揚げが久しぶりにあり、ケンサキイカは平年の1.2倍、カンパチは平年の1.9倍でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、アマダイ類、キダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.2kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の1.0倍、アマダイ類は平年の1.2倍、キダイは平年の8割でした。石見地区ではケンサキイカ、アマダイ類、ヒラメ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の8割、アマダイ類は平年の1.1倍、ヒラメは平年の1.7倍でした。隠岐地区ではスルメイカ、ケンサキイカ、マダイ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は29.8kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、スルメイカは平年の4.9倍、ケンサキイカは平年の9割、マダイは平年の2.3倍、カサゴ・メバル類は平年の7割でした。

【令和7年8月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マアジ	2,217トン	79%	83%	21.5トン	92%	85%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	4.0トン	27%	73%	134kg	70%	149%
	西郷	スルメイカ	1.2トン	11%	30%	101kg	86%	152%
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、キダイ、マトウダイ	84.9トン	140%	97%	12.1トン	181%	115%
ばいかご	石見	エッチュウバイ	15.5トン	80%	84%	1.0トン	101%	96%
しいら漬け	石見	シイラ (*操業船が1隻のみのため公表不可)	—*	—*	—*	—*	—*	—*
定置網 (大型)	出雲	サバ類、マアジ、 ソウダガツオ類、カジキ類	136トン	102%	79%	10.5トン	102%	79%
	石見	サバ類、イサキ、ソウダガツオ類	23.8トン	64%	69%	6.0トン	64%	68%
	隠岐	サバ類、ケンサキイカ、カンパチ	9.1トン	55%	48%	4.6トン	83%	72%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、アマダイ類、キダイ	25.2トン	96%	96%	20.2kg	111%	112%
	石見	ケンサキイカ、アマダイ類、ヒラメ	25.3トン	89%	94%	18.3 kg	96%	100%
	隠岐	スルメイカ、ケンサキイカ、 マダイ、カサゴ・メバル類	15.4トン	90%	108%	29.8 kg	124%	156%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ

～お詫びと訂正～

漁況速報6月号（令和7年6月30日発行）及び7月号（令和7年8月4日発行）の定置網漁業に関する記載内容に誤りがありましたので、下記のとおり訂正してお詫び申し上げます。

6月号…（正）5月の出雲地区のCPUE 46.0トン
（前年比：70% 平年比：127%）

7月号…（正）6月の出雲地区のCPUE 52.1トン
（前年比：132% 平年比：161%）